

検
屍
考

特53

571

060910-000-3

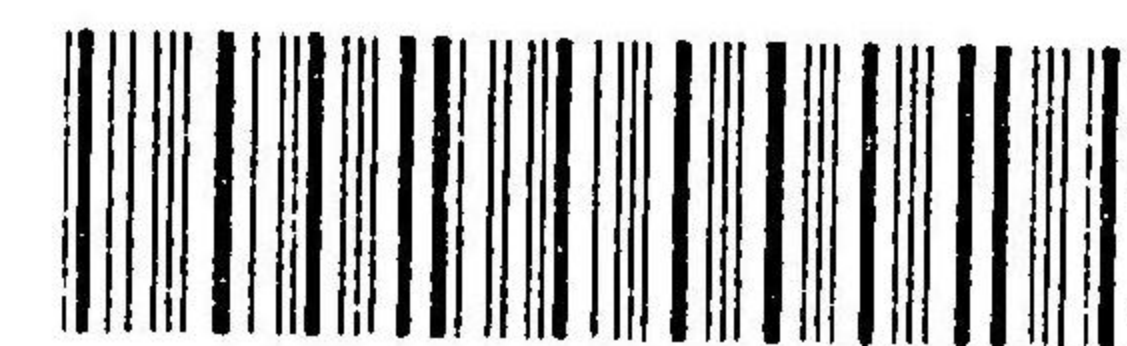
特53-571

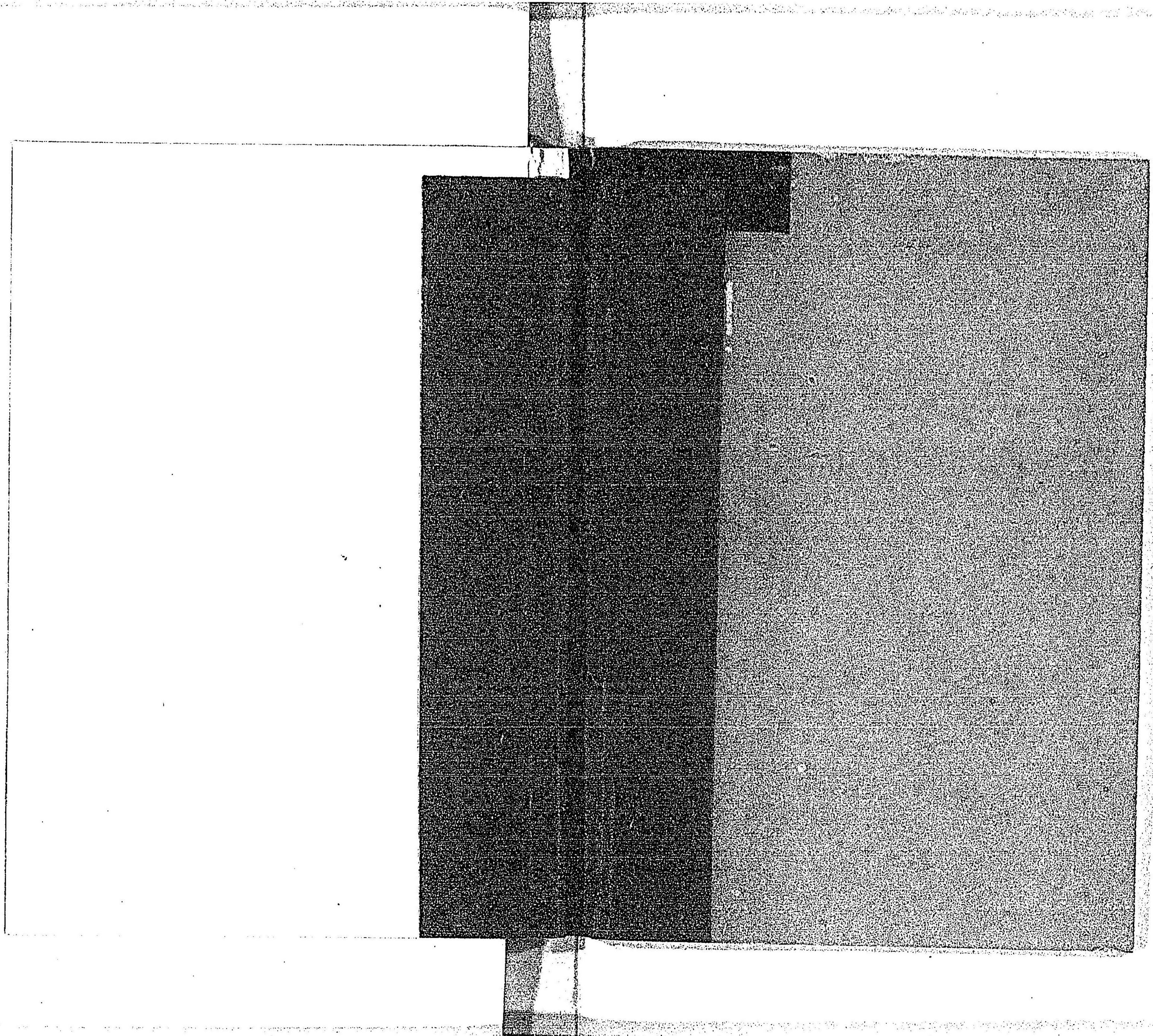
検屍考

中尾勝健

M25

CBN-0008

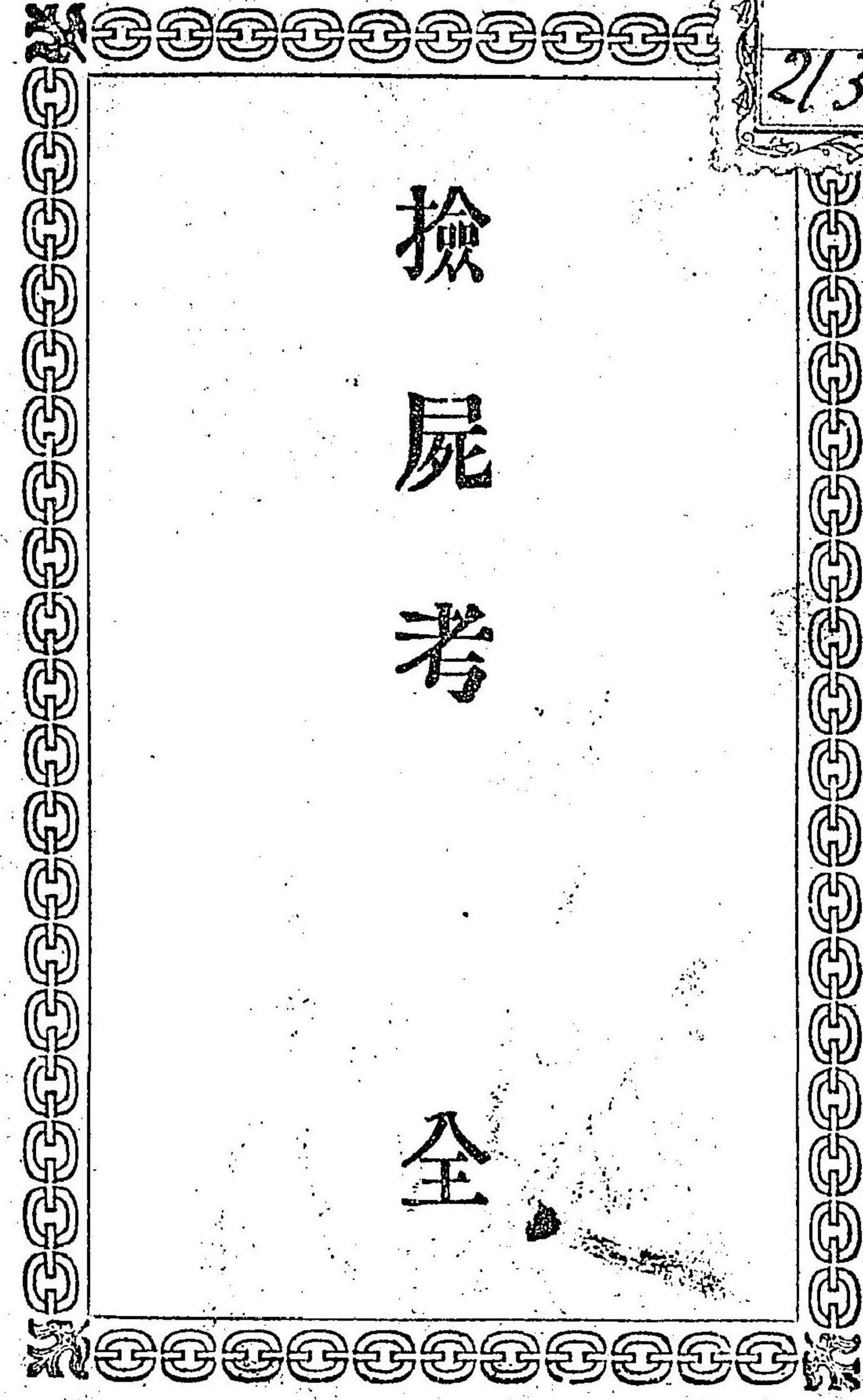




V-66

52
213

檢
屍
考
全



検屍考目次

第一章

毆死

第二章

殺死

第三章

踢傷死

第四章

鳥鎗傷死

第五章

身首處ナ異ニスル者

第六章

支解ノ者

第七章

身ナ傷損ナキ者

第八章

孕婦

第九章

腹内胎孕ノ明ナラサル者ノ附癥瘕

第十章

産門ヲ傷キ死スル者

特 53
57



第十一章 腹内ニテ驚死セシ小兒
 第十二章 淹死
 第十三章 溺井死
 第十四章 焚死
 第十五章 湯潑死
 第十六章 凍死
 第十七章 餓死
 第十八章 醉飽死
 第十九章 燒酒醉死
 第二十章 煤炭ノ氣ヲ吸テ死スル者
 第二十一章 病人ノ求乞シテ路ニ死スル者
 第二十二章 雷震死

第二十三章 驚怖死
 第二十四章 脫陽死
 第二十五章 刎死
 第二十六章 杖死
 第二十七章 跌死
 第二十八章 壓死
 第二十九章 車輪撥死
 第三十章 硬物ニテ癡沾セラレ死スル者
 第三十一章 内損死
 第三十二章 悶死
 第三十三章 吊死
 第三十四章 馬踏死

- 第三十五章 牛角傷死
- 第三十六章 虎咬死
- 第三十七章 癩狗傷死
- 第三十八章 蝮傷死
- 第三十九章 中毒死(酒毒、食物及ヒ金石藥ノ毒、砒霜毒)
- 第四十章 瘁中死
- 第四十一章 中暑死
- 第四十二章 傷寒死
- 第四十三章 鍼灸死
- 死屍ノ變動
- 屍格
- 屍圖

檢屍考

第一章 毆死ノ屍ヲ驗ス

- 第一條 凡毆死ノ屍ハ口眼俱ニ開キ毛髮亂レ衣服整ハズ兩手拳セズ或ハ湯水內衣ヲ汚スモノナリ
- 第二條 生前ニ毆レテ死スル者ハ傷痕ニ紫赤ノ血量アルナリ
- 第三條 八手掌ニテ要害ノ處ヲ打ルレバ忽チ死ヲ致スア
リ必ズ指痕アリテ前分レ後合フテ掌蹠ノ如シ
- 第四條 命門骨ヲ擊レテ立トコロニ斃ルモノハ其痕必ズ紫赤ノ色アリ(命門骨ハ尾蛆骨ヨリ倒ニ數ヘ上テ第七髓ノ兩旁ニ各一小穴アルモノナリ)
- 第五條 爭鬪ニ因テ死スル者若シ屍ニ痕損ナキ片ハ能ク其

腎子ヲ檢ス可シ人大醉大飽ノ時人ト爭鬪シテ暴怒觸逆ス
 レハ氣絶シテ腎子腹トニ縮入スルモノナリ且腎子ノ縮入
 スル者ハ宜ク温醋ニテ軟衣綿絮ノ類ヲ濕シ之ヲ罨スル一
 飯時ノ後手ヲ以テ屍體ノ小腹ヲ按ス可シ必ズ腎子墜ルナ
 リ

第六條 死後ニ火燒シタル青竹筴ヲ將テ烙シテ傷痕ヲ成シ
 打死ト稱スル者ハ其痕焦黑色アリ淺平ニシテ硬カラス又
 檫樹皮ヲ將テ罨シテ傷ヲ成ス者ハ其痕爛損シ色黒クシテ
 四圍ニ青色アリ聚リテ一片ヲ成シ毫モ腫ル、トナク之ヲ
 捺スルモ亦堅硬ナラス

第二章 殺傷死ノ屍ヲ驗ス

第七條 殺傷セラレテ死スル者ハ口眼開キ髮亂レ兩手微ク
 握リ手上或ハ傷損アリ若シ兇人等ニ要害ノ處ヲ直ニ砍殺
 セタルキハ手上傷ナクシテ其瘡必ズ重シ

第八條 活人ノ殺サル者ハ其刃ヲ受ル處必ズ皮骨緊縮シテ
 四畔ニ血癢アリ若シ支解セラルキハ筋骨皮肉稠粘シテ皮
 縮ノ骨露ルナリ

第九條 死人ノ割截セラル者ハ皮肉舊ノ如ク血灌癢セズ皮
 緊縮セズ刀ノ盡ル處血流ナク色白クシテ痕下血水アリト
 雖モ若シ檢洗擠擦スレバ肉内必ズ清血ノ流れ出ルヲナシ

第十條 首ヲ落ス者活時斬下スレバ項下皮縮リ骨凸ニシテ
 兩肩聳ユ若シ死後ナレバ此狀ナシ

第十一條 凡口ヲ用テ指ヲ咬下スル者ハ齒上ニ毒アリテ命ヲ致スコトアリ必ズ瘡口齊シカラズシテ膿水淹浸シ皮肉損爛スルナリ

第十二條 若シ人自ラ刀ヲ將テ手指ヲ剝下スルニ皮頭皆齊シケレハ速ニ藥ヲ用テ封札スベシ蓋當下死セスト雖モ治療セザレバ亦死スルニ至ル

第三章 踢傷死ノ屍ヲ驗ス

第十三條 腎囊及ヒ陰門ヲ踢傷セラレテ死スル者ハ須ク上部ノ骨ヲ檢ス可シ男子ノ傷痕ハ上下ノ牙根裡骨ニ現レ女子ノ傷痕ハ上脰ニ現ルモノナリ(疼痛ニ堪エズシテ齒牙根咬スル故ナリ)

第四章 鳥鎗傷死ノ屍ヲ驗ス

第十四條 鳥鎗傷ニテ死スル者肚腹腐爛シテ更ニ驗ス可キ痕跡ナキハ宜ク其腐爛物ヲ淘洗シテ檢ス可シ必ズ鎗子出ルナリ

第五章 身首處ヲ異ニスル屍ヲ驗ス

第十五條 身首處ヲ異ニスル者ハ先其屍親ヲシテ身ト首ヲ辨認セシメ又死屍ノ位置何レノ方角ニアルヲ量リ後須ク首ト身ト相離ル、左右遠近或ハ肩脚ヲ去ル尺寸若干ナルヲ量ル可シ

第六章 支解ノ屍ヲ驗ス

第十六條 支解ノ者ハ其手臂腿脚ノ所在各相離ル、遠近ヲ量リ悉ク開寫シ訖リ然ル後俱ニ屍ヲ湊成シテ收殮ス可シ

第七章 身ニ傷損ナキ屍ヲ驗ス

第十七條 暴卒ニ死シテ屍ニ傷痕ナキ者ハ宜ク口内涎唾ノ有無ト喉間ノ腫否トヲ檢ス可シ或ハ急ニ纏喉瘋ヲ病テ死スル者アルナリ

第十八條 婦女ノ死シテ痕損ナキ者ヲ驗スルニハ能ク其陰門ヲ看ル可シ刃ヲ此處ヨリ腹内ニ入ル、ヲ恐ルレバナリ刃皮ヲ離ル、ヲ淺キ片ハ臍ノ上下ニ微ク血沁アリ若シ深キ片ハ之ナシ

第十九條 屍ヲ驗スルニ傷損ナク又病狀ナキ者ハ頭髮ヲ剃除シテ審ニ看ル可シ人刃ヲ將テ額門或ハ腦中ニ釘入セラレレバ死スルモノナリ且物ヲ以テ鼻ト糞門トニ入ル、モ

ノハ皆其傷ヲ匿スコトヲ得可シ故ニ此等ノ處亦能ク檢考ス可シ

第八章 孕婦ノ屍ヲ驗ス

第二十條 孕婦死スルハ若シ速ニ殮シテ棺ニ入レ或ハ土中ニ埋レバ屍體脹滿シ骨節縫開シテ其胎必ス出ヅ故ニ開堀シテ勘檢セバ必ス實ヲ得可シ

第九章 腹内胎孕ノ明ナラザル屍ヲ驗ス

第二十一條 婦人ノ死シテ腹内ニ胎孕ノ有無明ナラザル者ハ須ク手ヲ以テ其心下ヨリ肚臍ニ至ル處ヲ按檢ス可シ若シ胎孕アルハ堅キヲ鐵石ノ如シ
婦人婚配シテ氣和スルニ因リ少時腹内ノ癥癥自ラ下ル

コアリ多ク胎孕ニ似タリ然レモ癢癢ハ只血塊ニシテ衣膜ナシ其或ハ形ヲ成ス丁籠ノ如ク蛇ノ如キハ異氣ヲ受ルニ因レリ

第十章 産門ヲ傷キ死スル者ノ屍ヲ驗ス

第二十二條 婦人産門ヲ傷キ死シテ皮肉ノ消化スル者ハ頤門骨ト架骨ト皆紫赤ノ色アリ(架骨ハ横ニ小腹ノ下ヲ環リ後尾蛆骨ト連ルモノ也)

第十一章 腹内ニテ驚死セシ小兒ノ屍ヲ驗ス

第二十三條 母ノ腹中ニ在テ驚死セシ小兒ノ屍ハ胞衣紫黑色ニシテ血滲軟弱ナリ生下シテ後死スル者ハ其屍淡紅色ニシテ胞衣白色ナリ若シ生下シテ死ヲ致ス者或ハ身ニ傷痕アリ或ハ喉下ノ場スルアリテ面色紫赤若クハ紫黒ナル

中ハ能ク審察ス可シ蓋驚死ヲ以テ人ヲ圖賴スル者多ク其手足ヲ捉定シ咽喉ヲ搦踏シテ氣絶セシムレバナリ

第十二章 淹死ノ屍ヲ驗ス

第二十四條 淹死ノ屍水中ニ在ル者暑熱ノ時ハ一二日寒冷ノ時ハ數日ヲ經テ浮ブモノナリ

第二十五條 凡水内ノ屍男子ハ伏シ女子ハ仰クナリ

第二十六條 生時水ニ落テ死スル者ハ頭面仰キ肉色潰白ニシテ口合ヒ眼閉キ(或ハ閉ル)口鼻内ニ沫出テ兩手拳曲シ

腹膨脹シテ拍着スレハ聲ヲ成シ脚底皸白ニシテ腫ル、トナク手脚爪縫ニ泥沙アリ或ハ磕損ノ處アルナリ

第二十七條 死後ニ去シテ水中ニ入レタル者ハ皮肉黄色

ヲ帶ビ口眼俱ニ合シ兩手拳縮セス肚皮胖脹セス口鼻内ニ
 水沫ナク脚底皸白ナラスシテ却テ腫ルマコアリ手脚爪縫
 ニ泥沙ナシ且傷損アル片ハ其痕必ス黒色ナリ
 第二十八條 淹死ノ屍ヲ驗スルニ未タ人ト爭鬪セスシテ頭
 面ニ力傷等アル者ハ須ク之ヲ淘シテ其水内ヲ看ル可シ人
 初テ水ニ落ル時氣尙未タ絶エス物(金刃磁鋒等ヲ云フ)ニ觸レテ中
 傷スレバ自ラ血痕アルト生時刃ヲ受ル者ノ如シ
 第二十九條 凡水死ノ屍ニ傷痕ナク面色紫赤ニシテ口眼俱
 ニ開クモノハ必ズ人ニ倒提シテ水ニ入レラル、ナリ
 第三十條 人或ハ打レテ忿怒ノ餘水ニ投シ又ハ毆レシ後
 俛リ跌テ水ニ落ル片ハ其屍生溺ノ者ト同シ故ニ屍格ニハ

宜ク毆傷ヲ受ル痕ヲ具記シ水ニ入ル原由ヲ將テ明ニ尋説
 ス可シ

第十三章 溺井死ノ屍ヲ驗ス

第三十一條 凡井ニ投スル者ハ速死ヲ求テ忿憾ス故ニ眼合
 ヒ手握ルナリ人ニ推送セラレ或ハ自ラ落ル者ハ忽然トシ
 テ閃入ス故ニ手開キ眼微ク開クナリ
 第三十二條 井内ニ死屍アレバ水面ニス必浮沫アリ故ニ井
 中ニ屍アルヲ報スル者アル片ハ先此等ノ事ヲ以テ訊問ス
 ベシ或ハ人ヲ謀リ却テ詐リ報スル者アレバナリ
 第三十三條 大凡井ニ入ル者ハ其脚下ニ在リ若シ其頭下ニ
 在ル片ハ宜ク人ノ財遺推送ニ因ルト否トヲ檢考ス可シ

第十四章 焚死ノ屍ヲ驗ス

第三十四條 火燒死ノ者ハ能ク屍ニ屋瓦茅灰等ノ壓觀スル
ト否トヲ檢ス可シ蓋屋宇ノ焚燒ニ因テ燒死スル者ハ其屍
必ス瓦茅ノ下ニ在リ若シ其上ニ在ル者ハ人ニ推送セラル
ルナリ

第三十五條 老病ノ人燒死スルトキハ屍焦黑色ニシテ口眼
俱ニ開キ或ハ齒唇ヲ咬ミ手膝皆拳曲シ皮肉ニ黄色ノ脂膏
突出スルコトアリ

第三十六條 生前ニ火燒セラレテ死スル者ハ必ス口鼻内ニ
灰煤アリ(火逼セラル、キ奔掙)死後ニ火燒セラル、者ハ
之ナキナリ(シテ口ヲ開ケハナリ)

第三十七條 殺死ノ屍ヲ以テ燒死ト假稱スル時ハ宜ク米醋
ヲ灑潑シテ檢ス可シ必ス其血跡顯ルナリ

第三十八條 若シ焚死ノ屍已ニ灰燼トナリ更ニ檢ス可キ跡
ナキキハ須ク伴作并ニ親隣ノ供狀ヲ取テ燒燬ノ情由ヲ明
ニス可シ

第十五章 湯潑死ノ屍ヲ驗ス

第三十九條 湯潑傷ヲ被ル者ハ皮肉皆爛レ皮開析スルキハ
色白ク肉ニ着ノ皮モ湯ヲ經ンバ亦白シ且肉赤ク爛レ傷重
キ者ハ亦死スルナリ

第四十條 圍打等ニテ推入セラレ湯潑傷ヲ被ル者ハ必ス
屍ニ損處アリ其炮甚ダ起ラスシテ好肉ノ湯潑ヲ受ル處ト

同シカラス

第四十一條 死後ニ湯液傷ヲ被ル者ハ肉色白クシテ爛ル、ナク又腕ノ起ルヲナシ

第十六章 凍死ノ屍ヲ驗ス

第四十二條 凍死ノ者ハ遍身粟ヲ生シ面色痿黃ニシテ項縮リ齒牙硬ク兩手緊ク胸前ヲ抱ヘ口ニ涎沫アリ若シ熱酒醋ヲ用テ洗フキハ其腮紅色ヲ發スルヲ芙蓉ノ如シ

第十七章 餓死ノ屍ヲ驗ス

第四十三條 餓死ノ屍ハ臍腹低塌シ渾身黑瘦硬直ニシテ眼閉テ口開キ齒緊ク四肢伸ルナリ

第十八章 醉飽死ノ屍ヲ驗ス

第四十四條 醉飽死ノ屍ハ俱ニ傷痕ナク惟肚腹膨脹シテ之ヲ拍テバ響アルナリ

第十九章 燒酒醉死ノ屍ヲ驗ス

第四十五條 燒酒醉死ノ者ハ齒牙動搖シ屍軟弱ニシテ口鼻間ニ血水流レ出ルナリ

第二十章 煤炭ノ氣ヲ吸テ屍スル者ノ屍ヲ驗ス

第四十六條 入過分ノ炭精ヲ吸収スル片ハ必ス覺エス自ラ斃ル其屍軟ニシテ傷痕ナク夜臥醒死シテ復覺ル能ハザル者ニ同シ

第二十一章 病人ノ求乞シテ路ニ死スル者ノ屍ヲ驗ス

第四十七條 病人ノ求乞シテ路ニ在リ死スル者ハ形體瘦弱
肉色痿黃ニシテ口眼俱ニ合ヒ兩手微ク握リ口ト齒ト焦黃
色ヲ帶ヒ唇齒ヲ蓋フコナシ

第二十二章 雷震死ノ屍ヲ驗ス

第四十八條 雷震死ノ者ハ肉色焦黃渾身軟黑ニシテ口開キ
眉皺ミ頭髮披亂ス且雷火ヲ經ル處ハ皮肉緊硬ニシテ攣縮
シ傷痕ハ多ク腦上及ビ腦後ニ在テ紫赤ノ浮皮アリ或ハ胸
項肩膊ニ篆文ニ似タル者アリ

第二十三章 驚怖死ノ屍ヲ驗ス

第四十九條 驚死ノ屍ハ口瞪シ口開キ兩手舒展シ死後猶怕
怖ノ狀ヲ存ス

第二十四章 脫陽死ノ屍ヲ驗ス

第五十條 男子色慾太タ多ク精氣耗盡シテ婦人ノ身上ニ
死スル者ハ陽根痿衰セザルナリ

第二十五章 刎死ノ屍ヲ驗ス

第五十一條 凡自刎ノ屍ハ口眼俱ニ合ヒ面愁ヒ眉皺ミ兩手
拳握シ臂曲テ縮リ面色黃ナリ

第五十二條 人自テ割グニ右手ニテ刀ヲ把ル片ハ量絶スト

雖モ尙救フ可シ左手ナレバ復救ヒ難キナリ (右手ハ稍疼
子知テ力軟弱トナリ左手ハ其痛極度) (痛スレバ忽

第五十三條 自刎スル者喉下ノ刀痕ハ只一傷ナリ蓋傷ヲ受
ルノ後復割クコ能ハザレバナリ若シ髮亂レ刀痕參差トシ

テ左右深淺ノ別ナキモノハ必ス人ニ勒殺セラレタルナリ
第五十四條 傷喉骨ノ上ニ在ル者ハ死シ難ク其下ニ在ル者
ハ死シ易キナリ（喉骨ノ上ハ骨堅クシテ刀深ク入ルヲ能ハス其下ハ虛ニシテ斷テ易ケレバナリ）

第二十六章 杖死ノ屍ヲ驗ス

第五十五條 杖死ノ屍ハ能ク瘡痕ヲ勘檢ス可シ其日近ケレバ瘡圍ニ毒氣アリ色青黒ニシテ皮肉堅硬ナリ若シ久キヲ經ルハ必ス膿水淹浸シ皮肉潰爛スルナリ

第五十六條 杖ヲ受ケテ立トコロニ踞ル者ハ宜ク男子ナレハ陰囊ヲ看婦女ナレハ産門ヲ看ル可シ又其胸脇助腰等ニ傷跡ノ有無ヲ檢ス可シ

第二十七章 跌死ノ屍ヲ驗ス

第五十七條 跌死ノ者ハ須ク其死處ノ高低并ニ失足ノ踪跡ヲ看テ推墮ト自墮トヲ分チ以テ傷痕ヲ檢ス可シ若シ内損ニ因テ死スルハ必ス七竅内ニ鮮血ノ流レ出ルヲアリ

第二十八章 壓死ノ屍ヲ驗ス

第五十八條 壓死ノ屍ハ舌出テ眼突出シ耳口鼻ニ血アリ兩手微ク握リ遍身游紫黯色ニシテ傷處ニ血瘀赤腫アリ皮ノ破ル處ハ其四畔モ亦腫レ或ハ筋骨折損ス若シ死後ニ壓セラレハ骨折損スト雖モ舌出ル等ノ狀ナシ

第二十九章 車輪撥死ノ屍ヲ驗ス

第五十九條 車輪ニ撥着セラレテ速ニ死スル者ハ肉色微黃ニシテ口眼俱ニ開キ兩手微ク握ルナリ

第三十章 硬物ニテ癡疔セラレ死スル者

ノ屍ヲ驗ス

第六十條 凡硬物ニテ肋後ヲ癡疔セラレテ死スル者ハ傷處赤色ニシテ皮破ル、ナシト雖モ筋骨必ス折損スルナリ

第三十一章 内損死ノ屍ヲ驗ス

第六十一條 人酔飽後或ハ高處ニ跳リ或ハ重物ヲ擲アル等カチ用フルヲ太タ過半内損スルニ至テ死スルハ口鼻ト糞門ニ飲食及ビ大便ノ血ヲ帶ビテ流レ出ルコトアリ

第三十二章 悶死ノ屍ヲ驗ス

第六十二條 衣服或ハ濕紙ニテ口ト鼻トヲ搭セラレ悶絶シ

テ死スル者ハ舌破レ項肉硬ク腹乾脹スルナリ

第六十三條 人酔酔シテ熟睡ノ時氈褥ニテ捲束シ倒ニセラレバ片時ニシテ悶死ス必ズ屍ニ血出ル等ノ狀ナシト雖モ両肋心胸ノ前堅ク腫ル、ナリ

第六十四條 外物ニテ口鼻ヲ壓塞セラレ悶死スル者ハ眼開キ睛出テ口鼻内ニ清血ヲ流シ滿面赤黒色ノ血滲アリ糞門突出シ便溺衣ヲ汚スモノナリ

第三十三章 吊死ノ屍ヲ驗ス

第六十五條 凡經死ノ者其繫縛喉上ニアルハ口閉チ牙關緊ク舌齒ニ抵テ出デス若シ喉下ナレバ口開キ舌尖出デ齒開クコト二分ヨリ三分ニ至リ面色紫赤ニシテ口吻ノ兩角及

ト胸前ニ皆涎沫アリ手拳シテ大姆指ヲ握リ脚尖直ク垂下
シ腿上ニ血瘡アリテ火灸スルガ如ク肚ヨリ小腹ニ至リ俱
ニ墜下シ青黑色ニシテ前ニ遺洩アリ腎後ニ糞アリ及ヒ大
腸頭出テ或ハ血一二點アリ

第六十六條 病人ノ床上ニ在テ速死ヲ求メ自ラ縊レル者ハ
眼合ヒ唇開キ齒舌ノ咬ミ肉黄色ニシテ體瘦セ手握リ腎後
ニ糞出テ左右手内ニ多ク縊物ヲ把レリ

第六十七條 自縊ノ者曾テ一タヒ其繩ヲ解カレ後復死スル
ルハ必ス肚腹膨脹シ口舌ヲ咬マス腎後ニ糞ノ出ルコトナシ
第六十八條 凡甲處ニ吊死スル者ヲ復乙處ニ移シテ懸掛ス
レハ必ス兩痕アリ原懸ハ色紫赤ニシテ血瘡アリ移痕ハ只

白色ニシテ血瘡ナシ

第六十九條 吊ノ高低ヲ論ゼズ或ハ床櫛上或ハ船艙内皆能
ク人ヲ死セシム但屍横ニ懸レバ頭頓シ身倒ニ臥シ痕斜ニ
シテ腦後髮際ニ至ラズ

第七十條 自縊ノ者其喉下ノ痕ハ脚處ナレバ深ク實ナレ
バ淺シ其體肥レハ深ク瘦レハ淺シ細緊細ナレバ深ク懈粗
ナレバ淺シ全幅ノ帛帕ナレバ散スルナリ

第七十一條 屍懸吊スルコト久クシテ肉潰爛シ骨ヲ見ハス并
ハ手腕ノ骨ト頭腦ノ骨及ヒ指尖ノ骨ト齒牙等皆赤色ナリ
第七十二條 人ニ勒殺或ハ打殺セラレテ自縊ニ擬スル者ハ
口眼俱ニ開キ手散シ髮慢ク喉下血脉行カズ痕跡淺淡ニシ

テ血癘黒蹟ナク舌尖出テズ亦齒ニモ抵ラス項肉ニ指甲ノ
 痕アリ身上別ニ致命ノ傷損アルナリ
 第七十三條 窓櫺或ハ樹木ノ類ヲ隔テ、人ニ勒殺セラレ自
 縊ト爲ス者ハ其縊痕跡ヲ交ヘス多クハ平過シテ越テ極深
 ノ黒黯色アリ耳後髮際ニ起ラズ甚タ辨シ易シ
 第七十四條 火烙ヲ用ヒテ屍體ニ痕ヲ成シ縊死ニ假作スル
 者ハ其痕紅色或ハ焦赤色ニシテ濕ヲ帶ルコトアリ
 第三十四章 馬踏死ノ屍ヲ驗ス
 第七十五條 馬ニ踏レテ死スル者ハ屍肉微黃ニシテ手散シ
 髮慢セス口鼻中多ク血出テ其痕黒色ナリ若シ要害ノ處ヲ
 踏ル、井ハ骨折レ腸臟出ルナリ

第三十五章 牛角傷死ノ屍ヲ驗ス
 第七十六條 凡人牛角ニ虚怯要害ノ處ヲ觸レラルトキハ其
 痕透碎シテ死スルモノナリ
 第三十六章 虎咬死ノ屍ヲ驗ス
 第七十七條 虎咬死ノ者ハ屍肉黄色ニシテ口眼多ク開キ胸
 手握拳シ髮亂ノ糞出テ傷處ニ舐咬ノ痕アリ
 第三十七章 癩狗傷死ノ屍ヲ驗ス
 第七十八條 人癩狗ニ傷ツケラル者ハ傷處必ズ痕跡アリ腹
 脹硬シ小便挺出ス其毒發スルノ時風寒ニ感ズルノ狀ノ如
 ク風ヲ畏ル、ト特ニ甚シク時々狗聲ヲ作シ人及ビ衣物ヲ
 嚙ント欲ス小腹墜脹シテ小便難キハ狗毒最モ厲シキナリ

初咬ハ猶救フ可シ毒既ニ發スル者ハ治セズ

第三十八章 蝮傷死ノ屍ヲ驗ス

第七十九條 蝮傷死ノ者ハ傷處ニ微ク齒損ノ黒痕アリテ四邊青腫シ黄水流出ス若シ其毒四肢ニ灌注スルハ身光腫シ面色黒キナリ

第三十九章 中毒死ノ屍ヲ驗ス

第八十條 人空腹ノ時毒ヲ服スレバ必ず肚腹青脹シテ唇口及ビ指甲ハ青カラズ飽後ナレバ唇口指甲青色ニシテ肚腹・青カラザルナリ

第八十一條 死後ニ毒藥ヲ灌入シテ服毒死ト詐ルハ必ず皮肉ト骨ト但黄白色ナリ

第八十二條 酒毒ニ中ル者ハ肚腹膨脹シテ其酒ヲ吐瀉スルナリ

第八十三條 食物及ビ金石藥ノ毒ニ中リ死スル者ハ屍ニ赤腫ノ處アリ拳打ノ痕ノ如ク或ハ大片ノ青黑色ヲ成シ或ハ皮肉破レ裂ケ舌ト糞門ト皆露レ或ハ指甲青色ニシテ肉縫微ク血アリ口鼻中多ク血ヲ出スナリ

第八十四條 砒霜ノ毒ニ中ル者ハ吐逆シテ腸腹絞痛ニ堪エス忽チ發狂シ七竅迸血シテ死ニ至リ一伏時ニ遍身小胞ヲ發シテ青黑色ヲ作シ眼睛ハ聳出シ糞門ハ脹綻シ舌ハ吐テ小刺胞ヲ生シ口唇ハ破裂シ肚腹ハ膨脹シ指爪ト口唇ト俱ニ青黑色ニシテ兩目及ビ外腎ハ脹大ニ至ル

第四十章 猝中死ノ屍ヲ驗ス

第八十五條 猝中死ノ者ハ眼開キ睛白ク口齒閉チ牙關緊ク口眼喎斜ニシテ口ノ兩角及ヒ鼻内ニ涎沫出デ手脚拳曲スルナリ

第四十一章 中暑死ノ屍ヲ驗ス

第八十六條 中暑死ノ屍ハ眼合ヒ舌ト糞門ト俱ニ出デズ而皮黃白色ニシテ或ハ鼻孔及ヒ糞門ニ血ノ出ルヲアリ

第四十二章 傷寒死ノ屍ヲ驗ス

第八十七條 傷寒死ノ者ハ遍身紫赤色ニシテ口眼開キ紫汗出テ唇微綻シ手握拳セズ

第四十三章 鍼灸死ノ屍ヲ驗ス

第八十八條 鍼灸死ノ者ハ須ク醫ヲ勾引シテ鍼灸處ノ穴道ニ當ルト否トヲ勘檢シ以テ致命ノ情由ヲ明ニス可シ

死屍ノ變動

死屍ノ變動ハ土地ノ寒暄ト人ノ老少肥瘦トニ因テ異ナリト雖モ大約春月ハ兩三日ニシテ口鼻肚皮兩脇胸前ノ肉色微ク青ク十日ニシテ口鼻耳内ニ惡汗出テ肚皮腫シ浮皮起ルアリ夏月ハ一二日ニシテ變動シ三日ニシテ身脹シ汗出テ蛆攢リ唇翻リ膚爛レ鮑起リ四五日ニシテ頭髮脱落ス秋月ハ春ニ較レハ畧速ニ夏ニ較レハ稍緩シ冬月ハ四五日ニシテ肉色微ク黃紫ニ變シ半月後ニシテ始テ變動ス若シ薦席ニテ裏包シ温地ニ埋ルルハ其變動スルヲ平常ヨリ遲

キモノナリ

屍格

仰面

頂心 偏左 偏右 頤門 額顛 額角 兩太陽穴 右左 兩
 耳竅 右左 咽喉 胸膛 兩乳 右左 心坎 肚腹 兩脇 右左 臍
 肚 腎囊 婦人產門 以上皆 兩眉 右左 眉叢 右左 兩眼胞 右左
 兩眼睛 右左 兩腮頰 右左 兩耳 右左 兩耳輪 右左 兩耳垂 右左 鼻
 梁 鼻竅 右左 人中 上下唇吻 上下牙齒口舌 額額 右左
 食氣際 兩血盆骨 右左 兩肩甲 右左 兩腋肌 右左 兩胎膊 右左

兩臑肱 右左 兩手腕 右左 兩手 兩手心 十指 十指肚 十
 指甲縫 兩肋 右左 兩膀 右左 莖物 兩腿 右左 兩膝 右左 兩膝
 兩脚腕 右左 兩脚面 右左 十趾 十趾甲

背面

腦後 兩耳根 右左 脊背 脊脊 兩後脇 右左 腰眼 右左 以上皆
 髮際 項頸 兩臂膊 右左 兩肘肘 右左 兩手腕 右左 兩手背 右左
 十指 右左 十指甲 右左 兩後肋 右左 兩腎 右左 穀道 兩腿 右左

V-66

明治廿五年六月十六日印刷
明治廿五年六月廿三日翻刻出版

發行者

中尾勝健

廣嶋縣廣嶋市字新川場町
六十二番邸

印刷者

早速有

廣嶋縣廣嶋市字大手町
二丁目五十九番邸

